

令和5年度 推進員の活動状況

私たち9名の男女共同参画推進員は、「一人ひとりの人権が尊重され、性別にかかわらず自らの個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現」に向けて、地域に根差した活動を行っています。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止規制が緩和され、出前トークをはじめ、地域行事の場での紙芝居上演や、市の行事の企画に携わり協働するなど、いっそう充実した推進活動に努めました。

【男女共同参画出前トーク】

ハートフル人権セミナーにおいて、推進員手づくり紙芝居『モモタロー・ノー・リターン』や、人気の演目『2か月のお留守番』を上演しました。

推進員の出前トークは、紙芝居以外にも、市の施策説明、市や国の男女共同参画に関するクイズなど、楽しんで学べる内容としています。

また、令和5年度は受講者に「ジェンダーチェックシート」に回答していただき、その場で集計し、受講者のジェンダー意識について振り返りを行うなど、受講者が主体的に考え、気付きを得る工夫をこらしました。

●ハートフル人権セミナー



令和5年6月27日【榎浜市民センター】



令和5年9月28日【今宿市民センター】

ハートフル人権セミナーのアンケートより抜粋

《参加者の声》

- ・ジェンダー平等について具体的な数字が出され、よく理解ができました。
- ・自分の思い込みを気付くきっかけになりました。気づく、わかる、できるを実行したいと思います。
- ・時代とともに人権に対する考え方が変化していっていると感じますが、さらに社会全体が多様性を認められるようになってほしいと思います。
- ・チェックシートを通して、無意識のうちに女性だから男性だからという思い込みが自分にもあることがわかりました。
- ・紙芝居での説明がわかりやすかったです。

- それぞれの家庭で考え方があると思いますが、自分の役割などその都度話し合っていたらと思いました。
- 周南市と全国、日本と世界の割合を知ってびっくりしました。意識を変えるだけで、もっと可能性が広がるなと思いました。
- 男女が自らの意志によってあらゆる分野における活動ができるようになると思います。女性は女性らしい感性があるものだと答える方が多いのに驚きました。
- 「女の子だから家事を」と言っていますが、言い方を考えて注意しようと思いました。
- 私は60代ですが、男女共同参画に関しては私の世代はずいぶん理解は進んでいると思います。私の親世代が一番こういう講演を聴くべきかと思います。私たちより下の世代で言うと、すでに理解しており、反対に男の肩身が狭くなり、女が強くなっているくらいではないかと思います。公的にはまだ社長や上司は男が多いなどありますが、個人的には女もずいぶん経済的に力をつけ、環境や社会制度を整えば、平等になるのは時間の問題かと思います。本当に平等になればよいなと思います。性別ではなく、適材適所で。

【市内イベントで紙芝居を上演】

●みて！感じて！人権オープンシアター



男女共同参画推進員が紙芝居『2ヶ月のお留守番』を上演し、男女共同参画の啓発を行いました。

この日は人権ビデオの上映や塗り絵のコーナーなどもあり、多くの家族連れが訪れました。

令和5年10月14日【徳山駅前図書館2Fインフォメーションスペース】

●周南こどもゆめまつり



令和5年10月22日【夢プラザ熊毛 1階和室】

令和元年度まで毎年開催していたこどもゆめまつりが4年ぶりに開催され、推進員の紙芝居も多く子ども連れで賑わいました。「モーターロー・ノー・リターン」は子どもが聴いても楽しめる内容に変更して上演し、中学生ボランティアも読み手となって活躍しました。

●鹿野のかくれがマルシェ



令和5年11月11日【旧大潮小学校 講堂】

鹿野で人気の「かくれがマルシェ」の会場で、紙芝居を上演しました。

男女共同参画推進員が考案した四コマ漫画の啓発ティッシュなどを、買い物に訪れた来場者に配布して啓発を図りました。

【学習会に参加】

●周南市男女共同参画委託事業の連続講座に参加



令和5年11月11日【遠石市民センター】

周南市が周南公立大学に委託し、遠石地区をモデル地区として開催した連続3回講座「分かち合おう！地域も家庭も」に推進員も学習会として参加しました。ジェンダーバイアス、災害時における多様性、ワークショップと多岐にわたる内容で、地域の皆さんとともに貴重な経験を得ることができました。

【市のセミナーに協力】

●男女共同参画セミナー兼企業職場ふれあい人権セミナー

講師兼ファシリテーター：山口大学副学長(ダイバーシティ推進担当)鍋山 祥子 氏

演題：家事/ケアの可能性 ～令和時代の「男も女も仕事もケアも」～

ミニ・パネルディスカッション(「家事分担意識チェックリスト」回答を振り返ろう～じゃあ、どこからやるか?～



令和5年12月21日【周南市役所多目的室】

推進員はセミナーの企画の段階から積極的に関わり、セミナーの当日も運営に協力するなど、円滑な開催に貢献しました。

家事分担を通して、地域で幸せに生きていくために男女共同参画が重要であることを改めて学びました。

【男女共同参画について啓発活動】

●男女共同参画推進月間等の啓発活動



令和5年10月18日【本庁舎ピロティ】

10月の男女共同参画推進月間に、推進員が本庁舎正面玄関前のピロティで啓発のパネルと幟を設置して、啓発活動を行いました。70人の市民の方へ月間の啓発グッズを配布し、男女共同参画月間について呼びかけました。また、ハートフル人権セミナーなどのイベントにおいても、男女共同参画週間や月間の啓発を積極的に行いました。

～今後もより良い啓発活動に取り組んでいきます～

お知らせ

男女共同参画推進員が出前トークで地域の集まりにお伺いします。

大好評の紙芝居上演や、楽しいクイズ、ワークショップなど、内容についてはお気軽にご相談ください。

出前トークの申込先：周南市役所人権推進課男女共同参画室

電話 (0834) 22-8205

FAX (0834) 22-8243

Email jinken@city.shunan.lg.jp